

台風 高潮

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。

台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。



大きさ	風速 15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上~800km未満	強い	33m/秒以上~44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上~54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

風の強さと吹き方

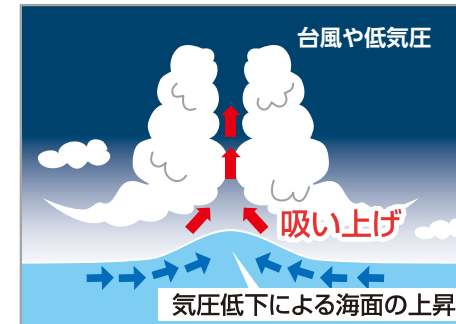
10m/秒以上~ 15m/秒未満	15m/秒以上~ 20m/秒未満	20m/秒以上~ 30m/秒未満	30m/秒以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。

高潮が発生する仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海面が異常に高くなる現象です。高潮が発生するとその高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越えるようになり、背後地が浸水する可能性が高くなります。

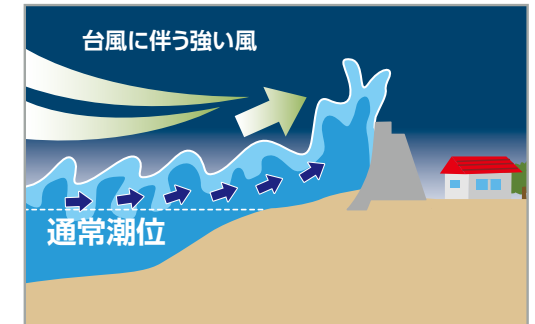
また、高潮が発生している海域に流れ込む河川があれば、高い潮位や波浪により河川の流れが阻害されます。そのため、川沿いでは氾濫が発生し、海岸から離れた内陸部にまで被害を及ぼすこともあります。

吸い上げ効果



台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。気圧が1hPa低下すると海面は1cm上昇します。

吹き寄せ効果



台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。

高潮注意報・警報の基準となる潮位

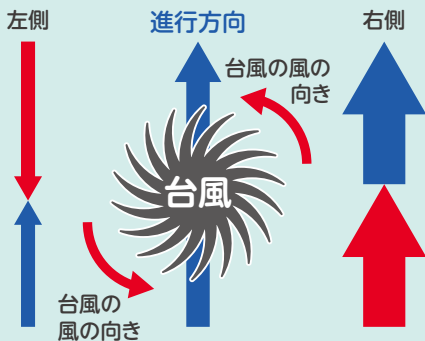
高潮注意報	高潮警報	高潮特別警報
潮位 1.6m	潮位 1.8m	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮となると予想される場合

避難行動のポイント

高潮発生時は、安全な高台へ避難することが原則ですが、外に出ない方が安全な場合もあります。大事なものは、その場所の想定される浸水の深さなどを事前に調べ、どのような避難行動をとるか決めておくことです。(あらかじめ避難先を決めておくなど) 平屋建てやマンションの1階に住んでいる方は、浸水の高さが2mを超えると避難は必須です。生命に危険が及ぶかどうかは、この高潮の高さによって大きく異なります。



台風に関する豆知識 ~台風の進行方向の右側は風が強い~



台風の進行方向の右側では、特に風に警戒を強める必要があります。これは台風の風の向きと台風を移動させる風の向きが同じになり、相乗効果で吹く風が強まるためです。台風の進路にも注目して、予報を確認しましょう。